



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-49711

(P 2 0 0 2 - 4 9 7 1 1 A)

(43) 公開日 平成14年2月15日 (2002.2.15)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I		ターマコード (参考)
G06F 17/60	136	G06F 17/60	136	5B049
	502		502	

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-237155 (P 2000-237155)

(22) 出願日 平成12年8月4日 (2000.8.4)

(71) 出願人 500363195

田島 健司

東京都江東区大島 1 丁目 2 番 1 - 3102 号

(72) 発明者 田島 健司

東京都江東区大島 1 丁目 2 番 1 - 3102 号

(74) 代理人 100083024

弁理士 高橋 昌久 (外 1 名)

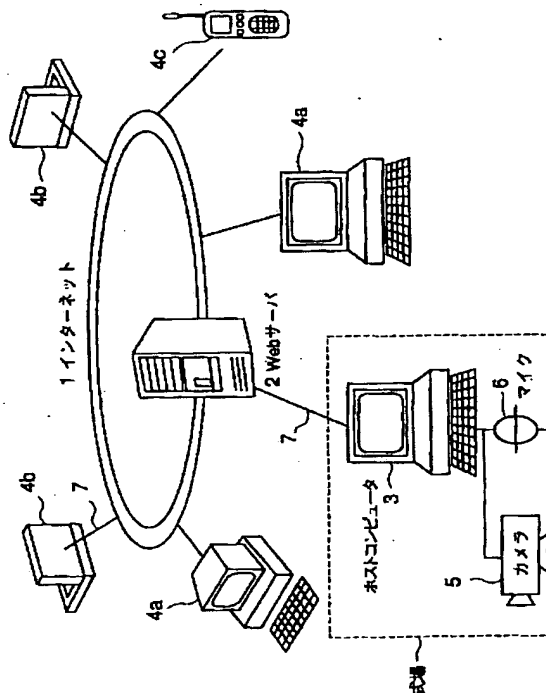
F ターム (参考) 5B049 AA02 AA06 BB70 FF01 GG00

(54) 【発明の名称】 サイバー式場出席システム

(57) 【要約】

【課題】 結婚式や披露宴、若しくは葬儀等の祝葬式場に出向くことの出来ない出席希望者がインターネットを利用して、リアルタイムで式次第を閲覧できるサイバー式場出席方法とそのシステムを提供する。

【解決手段】 結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事の式次第を撮像した動画像若しくは静止画像をインターネット 1 を介して式場に赴くことの出来ない出席希望者に閲覧可能にした式場参加システムであって、一又は複数の撮像手段を具えたホストコンピュータ 3 と、該ホストコンピュータ 3 とインターネット 1 若しくは地域ネットワークを介して接続される WWW サーバ等のサーバ 2 とを含み、前記インターネット 1 を利用した出席者が、端末 4 から前記祝葬事の主催者が予め通知したキー信号を入力することにより前記サーバ 2 にアクセス可能で、該サーバ 2 を介して前記ホストコンピュータ 3 から送信される式次第の映像をリアルタイムで前記端末に表示することを特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事の式次第を撮像した動画像若しくは静止画像をインターネットを介して式場に赴くことの出来ない出席希望者に閲覧可能にした式場出席方法であって、

前記祝葬事の主催者が予め指定した人により特定のキー信号を与えて前記動画像若しくは静止画像をリアルタイムで閲覧させながら、該閲覧者からのメッセージをインターネットを介して受信し、必要に応じて該メッセージを披露することを特徴とするサイバース式場出席方法。

【請求項2】 結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事の式次第を撮像した動画像若しくは静止画像をインターネットを介して式場に赴くことの出来ない出席希望者に閲覧可能にした式場出席システムであって、

一又は複数の撮像手段を具えたホストコンピュータと、該ホストコンピュータとインターネット若しくは地域ネットワークを介して接続されるWWWサーバ等のサーバとを含み、

前記インターネットを利用した出席者が、端末から前記祝葬事的主催者が予め通知したキー信号を入力することにより前記サーバにアクセス可能で、該サーバを介して前記ホストコンピュータから送信される式次第の映像をリアルタイムで前記端末に表示することを特徴とするサイバース式場出席システム。

【請求項3】 前記ホストコンピュータに、撮像手段とともに一又は複数の集音手段を具え、前記端末から映像とともにリアルタイムで音声を出力することを特徴とする請求項2記載のサイバース式場出席システム。

【請求項4】 前記インターネットを利用した出席者により前記端末から入力された文字メッセージ若しくは音声メッセージが、前記キー信号により判別されて該出席者の個人データと一体化して式運営手順に必要な優先分類毎にグループ化されることを特徴とする請求項2記載のサイバース式場出席システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、結婚式、披露宴及び葬儀等の祝葬事を執り行う式場における式次第の映像又は音声を、インターネット等の公衆回線を利用してリアルタイムに送信することにより、式場に赴けない出席希望者が遠隔地にて該祝葬事に参加できるようにしたサイバース式場出席方法及びそのシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、結婚式、披露宴及び葬儀等の祝葬事には近親者、友人、会社の上司等多数の出席者が参列するのが通例である。例えば結婚式、披露宴においては通常2～3ヶ月前に招待客を選別して招待状を郵送し、1カ月前には返事をもらい出席者リストが作成出来るようにする。一方、葬儀においては予め出席者を確認することが出来ないため、電話や電報、はがき等により詳細

を伝え、時間的、距離的に都合のつく人のみ出席することとなる。これらの祝葬事では前もって出席者に連絡をとる事がことが必要であるが、電話や電報、書面による伝達方法以外にも電子メール等のインターネットを用いた方法がその簡易性と利便性から広まりつつある。

【0003】かかるインターネットは、情報収集やコミュニケーションの手段として急速に普及してきた。該インターネットではWWW、電子メール、ネットニュース、FTP等の利用が可能で、特にWorld Wide Web（以下WWWという）はその操作の簡易さから世界中の多くの人に利用されている。WWWはネットワーク上に分散したあらゆる情報に対してシームレスにアクセスでき、WWWサーバのディスクに保存されているHTML言語で記述されたテキスト・ファイルや画像、音声、ビデオ等のファイルをユーザがHTTP（Hypertext Transfer Protocol）と呼ばれる通信プロトコルで読み出し、その読み出し要求に対してファイルを読み出されてクライアント転送されるようになってきている。特に、ISDN回線の普及により、画像や音声データ等の容量の大きいデータを短時間で送受信することが可能となったため、監視システムやテレビ会議システムのようにリアルタイムでの情報の送受信が必要とされるシステムが開発されてきている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来ではかかるインターネットは、結婚式や披露宴、及び葬儀等の祝葬事においては上記したように式の通知にのみ利用範囲は限られており、前記機能を十分に活用しているとは言い難い。そこで、本発明者はインターネットを利用した映像のリアルタイム伝送を前記祝葬事に利用することに着眼した。従来、結婚式や披露宴、及び葬儀等には近親者や友人らが皆出席できることが好ましいが、日程や距離的な問題から出席希望者が全て出席できるということは困難であった。特に遠方に居住する場合には交通費や宿泊費、出席費用など出費が嵩む上に時間的にも拘束時間が長く、都合が付き難いというのが実情である。そこで、式場に参列出来ない人は当日は遠方から新郎新婦を祝し、若しくは故人を偲び、後日ビデオや写真等により当日の模様を振り返ることしか出来なかった。しかしながら、これでは当日の式場の臨場感が伝わり難く、またビデオや写真が欠席者の手元に届くには時間がかかってしまう。

【0005】そこで、本発明はかかる問題点を鑑みながらなされたもので、結婚式や披露宴、若しくは葬儀等の祝葬式場に参加できない出席希望者がインターネットを利用して、リアルタイムで式次第を閲覧できるとともに、インターネットにより出席する参加者らが、より参加している気分を味わうことのできる式場参加方法とそのシステムに関する。

## 【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するために、請求項 1 記載の発明は、結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事の式次第を撮像した動画像若しくは静止画像をインターネットを介して式場に赴くことの出来ない出席希望者に閲覧可能にした式場参加方法であって、前記祝葬事の主催者が予め指定した人により特定のキー信号を与えて前記動画像若しくは静止画像をリアルタイムで閲覧させながら、該閲覧者からのメッセージをインターネットを介して受信し、必要に応じて該メッセージを披露することを特徴とする。

【 0 0 0 7 】かかる発明によれば、結婚式や披露宴若しくは葬儀等において、例えば、遠隔地に居住している等の種々の理由により参列できない出席希望者が、主催者から前もって手紙や電子メール等により通知された URL アドレスやパスワード、ID 等のキー信号により式場から送信される式次第の画像をリアルタイムで閲覧することができる。尚、本発明において閲覧とは視覚的、聴覚的なものを含み、主催者は結婚式、披露宴においては新郎新婦、葬儀では喪主等の葬儀を取り仕切る人という。このようにリアルタイムで式場から送信される映像は、静止画像を例えば 1 分半毎に送信してもよいし、動画を常時送信し続けてもよい。ただし、現時点では送信する側のホストコンピュータも、受信する側の端末も高機能のものはコスト的に高くつくため保有している人は少なく、通常用いられている安価なコンピュータでは、容量の小さい静止画像をコマ送りの連続送信することで、動画的なりリアル感が得られる。

【 0 0 0 8 】また、インターネット出席者の参加意識をより強めるために、披露宴では祝辞及び祝電、葬儀では弔辞及び弔電というようなメッセージやコメントをインターネット若しくは電子メール等を介して送信できるようにする。かかるシステムの構成は後に詳述するが、インターネット出席者が送信したメッセージが瞬時に式場に送られ、また該メッセージが披露されている映像をリアルタイムで閲覧することにより、遠隔地に居ながら式場に参列しているかのような気分を味わえる。さらに、本発明では予め主催者が指定した人により特定のキー信号が与えられるため、不特定多数の人に情報が漏れることはなく、個人のプライバシーが保護される。また、特に外部からの侵入を防ぎたい場合には、ファイアウォール等の防御手段を採るとよい。尚、前記動画像や静止画像とともに、式場の音声情報をリアルタイムで送受信できる機能を持たせることにより、一層参加雰囲気を感じることができる。

【 0 0 0 9 】請求項 2 乃至 4 記載の発明は、上記したような方法のシステムを示すもので、結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事の式次第を撮像した動画像若しくは静止画像をインターネットを介して式場に赴くことの出来ない出席希望者に閲覧可能にした式場参加システムで

あって、一又は複数の撮像手段を具えたホストコンピュータと、該ホストコンピュータとインターネット若しくは地域ネットワークを介して接続される WWW サーバ等のサーバを含み、前記インターネットを利用した出席者が、端末から前記祝葬事の主催者が予め通知したキー信号を入力することにより前記サーバにアクセス可能で、該サーバを介して前記ホストコンピュータから送信される式次第の映像をリアルタイムで前記端末に表示することを特徴とする。

【 0 0 1 0 】また、請求項 3 記載の発明は、前記ホストコンピュータに、撮像手段とともに一又は複数の集音手段を具え、前記端末から映像とともにリアルタイムで音声を入力することを特徴とする。かかるシステムは、結婚式、披露宴若しくは葬儀等の主催者と、商用インターネットサービス事業者（インターネットプロバイダ）と、システム提供者と、インターネットによる祝葬参加者とならなり、前記商用インターネットサービス事業者の保有するサーバに、システム提供者により式場の映像及び音声等のデータが一旦格納され、遠隔地の祝葬参加希望者が閲覧できる構成になっている。このとき、商用インターネットサービス事業者とシステム提供者とは同一であってもよい。

【 0 0 1 1 】式場に設置されたビデオカメラ若しくはデジタルカメラ等の撮像手段と、マイク等の集音手段とから収集されるデータをシステム提供者の保有するホストコンピュータで処理し、必要であれば編集を加えた画像及び音声データを電話回線経由で前記プロバイダー保有のサーバに送信する。かかる処理をリアルタイムで行なうことで、インターネット出席者が遠隔地に居ながら当日に擬似的に式に参加することができる。また、マルチメディアのデータベースシステムである WWW (World Wide Web) や、電子メール機能等を利用することで、参加希望者が容易に操作可能なシステムとすることができる。もちろん本発明にて利用されるインターネットの機能はこれらに限る事ではない。

【 0 0 1 2 】また、請求項 4 記載の発明として、前記インターネットを利用した出席者により前記端末から入力された文字メッセージ若しくは音声メッセージが、前記キー信号により判別されて該出席者の個人データと一体化して式運営手順に必要な優先分類毎にグループ化されることを特徴とする。かかる発明は、インターネット出席者の個人データ、つまり主催者との関係やエピソード等を前もって保存しておき、式中にインターネット出席者により式場に送られてきたメッセージとともにデータベースに一時格納され、親族、会社関係、友人等のようにグループ分けをして、メッセージの披露時に夫々のグループの優先順位によって披露順位を決定する。さらに、披露宴の場合には、かかるメッセージを披露する際にメッセージ送信者の簡単な紹介をしてもよいし、予め個人データを保存する際に写真等の画像データとともに

10

20

30

40

50

保存しておき、該画像を写し出しながら披露してもよい。このように、主催者側のデータだけではなく、インターネット出席者のデータを予めデータベースで管理しておくことにより、不備のない式の進行が可能となるとともに、インターネット出席者がその映像をリアルタイムで閲覧することでより身近に感じることができる。

#### 【0013】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の好適な実施例を例示的に詳しく説明する。但しこの実施例に記載されている構成部品の寸法、材質、形状、その相対的配置等は特に特定の記載がない限りは、この発明の範囲をそれに限定する趣旨ではなく、単なる説明例に過ぎない。図1は本発明における式場参加システムの全体概略構成図、図2は該式場参加システムの機能、手段を示すブロック図、図3は式の開催に備えたシステム提供者の動作手順を示すフロー図、図4はネット出席者の該当Webページへのアクセス動作手順を示すフロー図、図5はネット出席者のメッセージの処理工程を示すフロー図、図6はフレーム化されたWebページの表示画面を示す。

【0014】図1において、1はWWWや電子メール等の機能を有するインターネット、2はWWWを構成するためのサーバ、4はネット出席者の保有する端末で、デスクトップ型端末4a、ノート型端末4b、携帯電話等の携帯型移動端末、3はサーバ機能を備えたホストコンピュータ、5はビデオカメラやデジタルカメラ等のカメラ、6はマイクである。かかるシステムは次の4者、結婚式、披露宴若しくは葬儀等の主催者と、商用インターネットサービス事業者（インターネットプロバイダ）と、システム提供者と、インターネットによる出席者（ネット出席者）とにより成り立っている。ただし、インターネットプロバイダとシステム提供者とは同一者でも構わない。

【0015】また、かかる実施形態は結婚式、披露宴若しくは葬儀を例に説明しているが、結納、告別式等の前記祝葬事に類似する催しにも適用出来るものである。かかる実施形態におけるシステムは、前記ネット出席者の保有する端末4a、4b、4cがモデム（図2参照）及び電話回線7を介してインターネット1に接続可能に構成されており、該端末4からインターネット1への接続要求に対してダイヤルアップIP接続するインターネットプロバイダの保有するWebサーバ2と、インターネット11に接続され前記IP接続された端末4からのアクセスに対して必要な情報を提供するホストコンピュータ3と、該ホストコンピュータ3に接続され式場内を撮像する一又は複数のビデオカメラ5と、音声を受信するマイク6とを具え、該ホストコンピュータ3は前記撮像された画像データと音声データとをリアルタイムでWebサーバ2を介して各端末4に送信するリアルタイム制御手段を有する。尚、前記撮像手段はビデオカメラのか

わりにデジタルカメラを用いてもよい。また、本発明では画像データや音声データのように容量の大きいものを伝送するため、電話回線はISDN回線を用いるのが好ましく、該データを受信する端末4は、デスクトップ型端末4a、ノート型端末4b、携帯電話4c等、Webブラウザを備えた端末であれば何れでもよい。

【0016】かかるシステムの有する機能及び手段を図2を参照して説明する。システム提供者により管理されるホストコンピュータ3は、主な機能、手段としてデータ記憶手段12、データ管理手段13、データ処理手段14、フレーム化機能15aを含むデータ編集手段15、リアルタイム制御手段16、サーバ機能17を有し、インターネットサービス提供者により管理されるWebサーバ2は、データ記憶手段12、データ管理手段13、データ閲覧手段18サーバ機能を有し、かかるシステムを利用するネット出席者の保有する端末4は、画像表示制御手段19、音声出力制御手段20、文字入力部21、画像表示部22、音声出力部23を有している。さらに、夫々のコンピュータはインターネット1により互いにデータの伝送を行なうためのネットワーク接続手段10、データ送受信手段11を夫々具えている。

【0017】図2によれば、式場内に設置された一又は複数のビデオカメラ5により撮像された映像をビデオキャプチャ8を介してデジタルデータに変換して、同様に式場内に設置されたマイク6により集音された音声とともに、ホストコンピュータ3のデータ記憶手段12により一時的に記憶される。該映像及び音声はデータ処理手段14により映像は毎秒数十フレーム（好ましくは毎秒25フレーム以上）のペースで画像データが生成され、該画像データとともに音声もデータ化される。そして、予め作成されてWebサーバ2にアップロードされていたホームページにフレーム化して該画像が表示されるように、フレーム化機能15aを有するデータ編集手段15によりフレーム化等の編集を施した後、ネットワーク接続手段10、データ送受信手段11インターネット1を介してWebサーバ2へ送信される。該データ送受信手段11はデータをインターネットメール、FTP、HTML等のTCP/IPを用いたインターネット上で送受信可能な形式で前記データをWebサーバに送信するものであり、また該Webサーバ2からのデータを該ホストコンピュータ3で受信する手段である。

【0018】尚、前記フレーム化とは、図6に示すようにWebページ24の画面を複数の枠で分割する機能を行い、夫々の枠内は独立して操作ができる。このため、予め作成されるWebページ24には、一例として、リアルタイムに式場内の映像を流し続ける映像中継画面24a、新郎・新婦の紹介やメッセージの送信、式場案内等の複数のコンテンツを設けたコンテンツ画面24b、映像中継画面24aの動画像若しくは静止画像の録画、再生等の編集を施す画像編集画面24cなど、仕様に応

じた Web ページを作成しておくといふ。これにより、映像中継の合間に新郎・新婦の紹介や式場案内を閲覧したり、祝電、弔電に代るメッセージを電子メールで送信したり、画像編集画面 2 4 c にて映像中継のうち一画像を写真としてプリントアウトしたり、一部始終を録画して後に再び閲覧する等ということが可能となる。

【0 0 1 9】前記 Web サーバ 2 に蓄積されたデータは、データ記憶手段 1 2、データ管理手段 1 3 により管理され、端末の接続要求があった際にデータ送受信手段 1 1 により送信可能に構成されている。ネット出席者が前記 Web サーバのデータを閲覧するときは、ISDN 回線等の電話回線 7 を介して、該電話回線 7 と端末 4 との間に設置されたモデム 9 により A/D 変換されたデータを受信する。この際、該端末 4 は Web ブラウザ等のデータ閲覧手段 1 8 により Web サーバ上のデータを簡易に検索、閲覧できるようになっている。該閲覧手段 1 8 により検索したデータが画像表示制御手段 1 9 及び音声出力制御手段 2 0 により画像表示部 2 2 のモニタや音声出力部 2 3 のスピーカによって閲覧可能となる。また、端末 4 からデータを閲覧するのと同様に、該端末 4 のキーボードやマイク等の文字、音声入力部 2 1 から入力したデータはインターネット 1 を介して Web サーバ 2 から前記ホストコンピュータ 3 へ送信することも可能である。

【0 0 2 0】次に結婚式を例にとってネット出席者の動作工程を示す。図 3 は式の開催に備えたシステム提供者の動作手順を示すフロー図で、式を開催する主催者が招待客に招待状を送付し (S 1)、該招待状により式場への出席の意思確認を行い (S 2)、式場へ出席可能な出席希望者には通常通り参加してもらい、遠隔地に居住している、若しくは式場へ出向く程の時間がない人にはインターネットでの出席の意思確認を行い (S 3)、参加の意志のある出席希望者には URL アドレス、パスワード、及び個人 ID を通知する (S 4)。そして、主催者はネット出席者の個人データ、例えば、会社の上司、友人、親戚縁者である等の新郎新婦との関係や、その間のエピソード等の情報をホストコンピュータ 3 に蓄積させて予めデータベースを作成しておく (S 5)。式の当日には、ネット出席者は保有の端末にて WWW ブラウザを起動し、WWW ブラウザの URL 指定欄に通知されたアドレス、パスワード等を入力 (S 6) することにより該当 Web ページを表示 (S 7) することができる。

【0 0 2 1】尚、個人認証を含めたネット出席者の該当 Web ページのアクセス手順を図 4 のフロー図により説明する。まず、ネット出席者が、端末にて WWW ブラウザを起動し、WWW ブラウザの URL 指定欄に、URL アドレスを入力する (S 7) と、システム提供者のホームページが表示される (S 9)。該ホームページには当日式を挙げる新郎新婦名等が一覧となってリスト化されており、該リストの中から参加する式の新郎新婦名を選

択して (S 1 0)、予め通知されているパスワードを入力する (S 1 1)。前記端末 4 からホストコンピュータ 3 に前記パスワードが送信されると、該ホストコンピュータ 3 に格納されたパスワードと照合され、認証が行われ、認証が済むと該当 Web ページが前記端末に表示される (S 1 2)。

【0 0 2 2】ネット出席者が新郎新婦に向けてメッセージを送信する場合は、端末 4 に該メッセージを入力し (S 1 3)、パスワードとともに個人 ID を入力する (S 1 4)。そして、該個人 ID の照合、認証が行われた後、該メッセージはインターネット 1 を介してホストコンピュータ 3 に送信される。図 5 に前記ホストコンピュータ 3 が受信したメッセージの処理工程を示す。上記したように、ネット出席者による個人 ID の入力 (S 1 6) 後、該メッセージを受信した (S 1 7) ホストコンピュータ 3 は、入力された個人 ID から個人データを検索する (S 1 8)。該個人データは前記ホストコンピュータ 3 に前もって作成されたデータベースに格納されており、会社の上司、友人、親戚縁者である等の新郎新婦との関係や、その間のエピソード等の情報を蓄積されている。かかる個人データによりメッセージが優先分類毎にグループ化されて (S 1 9) 保存され、該メッセージ披露順位が新郎新婦との関係付けから決定され、例えば会社の上司、友人、親戚縁者の順でメッセージが披露される (S 2 0)。また、かかるメッセージを披露する際にメッセージ送信者の簡単な紹介をしてもよいし、予め個人データを保存する際に写真等の画像データをともに保存しておき、該画像を写し出しながら披露してもよい。

【0 0 2 3】一方、葬儀の場合においては、上記した結婚式、披露宴とはほぼ同様のシステムを利用することができるが、前もってネット参加者の確認をとることは困難であるため、式の通知はがき若しくは電子メール等で URL アドレス、パスワードのみ通知しておき、該当ホームページにアクセス出来る人は全て、弔電に代るメッセージを送信できるようにしてもよい。尚、本実施形態では情報伝達の方法として WWW、電子メールを例に挙げて説明したが、インターネットの機能であればこれらに限らない。

【0 0 2 4】

【発明の効果】以上記載のごとく本発明によれば、結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事に遠隔地に居住している若しくは式場に出向く時間がない等の理由から参列できない出席希望者が、インターネットを介して保有の端末にてリアルタイムで式次第を閲覧することができるとともに、遠隔地からメッセージを式場に送信することができ、遠隔地に居ながら擬似的に式場に参加できる。また、式場に送られたメッセージを予め作成したネット出席者用のデータベースに格納された個人データと一体化して保存することで、メッセージを優先分類毎にグル

ープ化することができ、主催者との関係づけを配慮した優先順位に基づき該メッセージを披露することができ、かつ前記データベース内の個人データとともに披露することで、よりメッセージ性に効果が期待できる。さらに、本発明におけるシステムは主催者が予め指定した人へのみパスワード、個人ID等を通知することから、主催者の希望に基づき出席者を募ることが出来不特定多数の人に情報が漏れることがない。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明における式場参加システムの全体概略構成図である。

【図2】 本発明における式場参加システムの機能、手段を示すブロック図である。

【図3】 式の開催に備えたシステム提供者の動作手順を示すフロー図である。

【図4】 ネット出席者の該当Webページへのアクセ

ス手順を示すフロー図である。

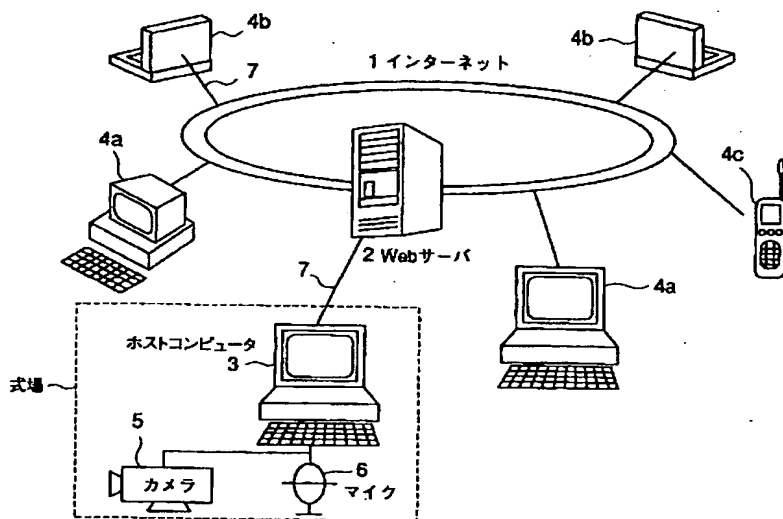
【図5】 ネット出席者のメッセージの処理工程を示すフロー図である。

【図6】 フレーム化されたWebページの表示画面を示す。

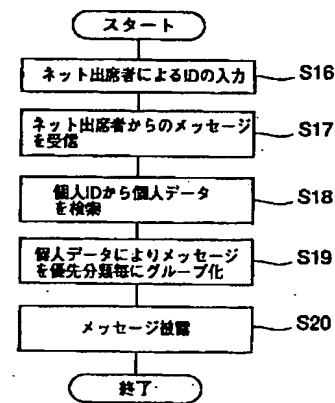
#### 【符号の説明】

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1          | インターネット   |
| 2          | Webサーバ    |
| 3          | ホストコンピュータ |
| 4、4a、4b、4c | 端末        |
| 5          | カメラ       |
| 6          | マイク       |
| 7          | 電話回線      |
| 8          | ビデオキャプチャ  |
| 9          | モデム       |
| 24         | Webページ    |

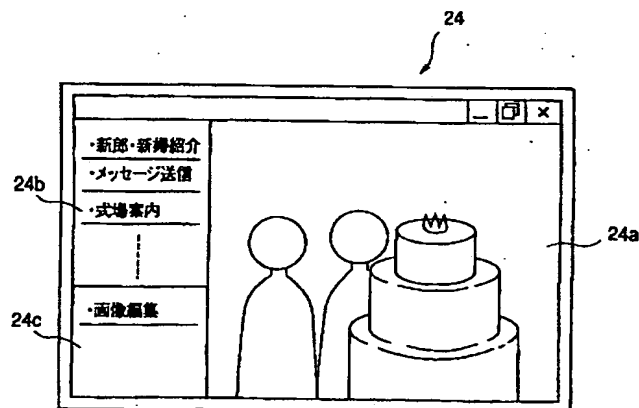
【図1】



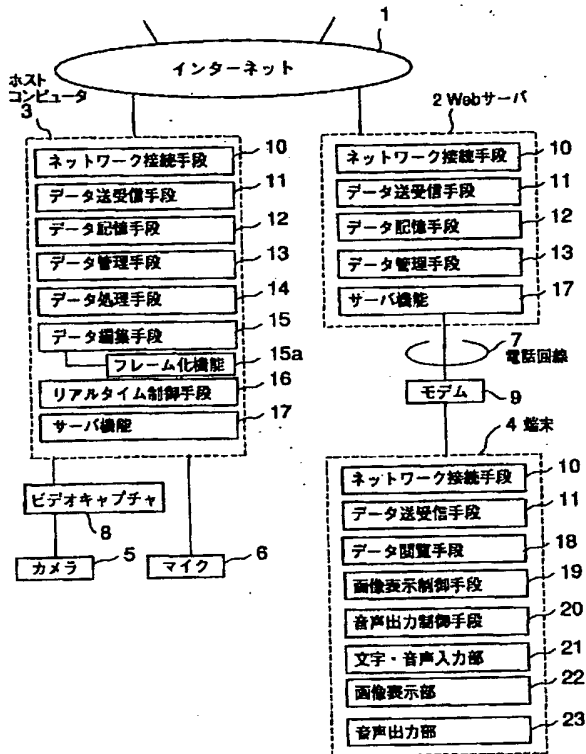
【図5】



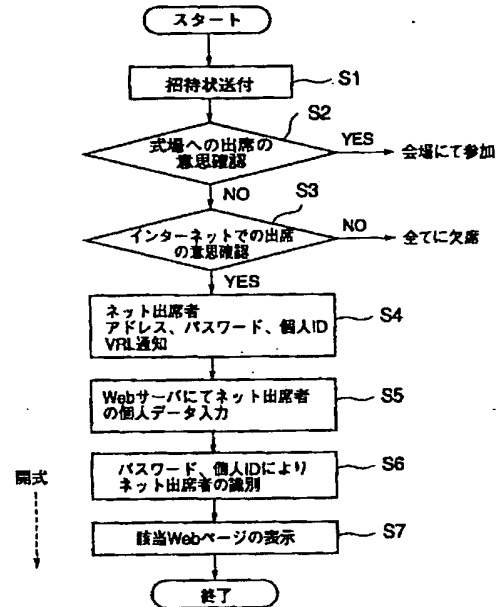
【図6】



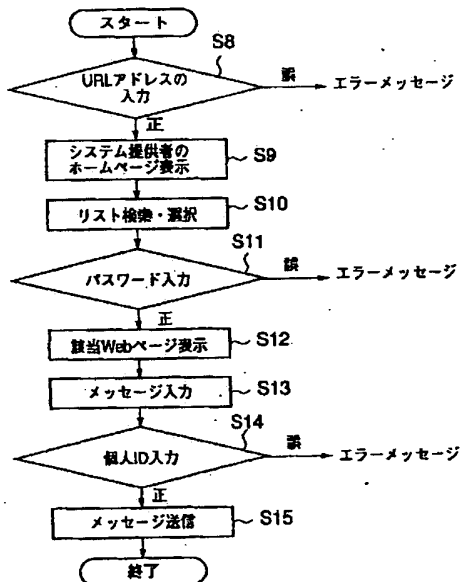
【図2】



【図3】



【図4】





## 【手続補正書】

【提出日】平成13年10月1日(2001.10.

1)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正内容】

【発明の名称】 サイバー式場出席システム

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事の式次第を撮像した動画像若しくは静止画像をインターネットを介して式場に赴くことの出来ない出席希望者に閲覧可能にした式場出席システムであって、  
 一又は複数の撮像手段を具えたホストコンピュータと、  
該ホストコンピュータとインターネット若しくは地域ネットワークを介して接続されるWWWサーバ等のサーバとを含み、  
 前記祝葬事の主催者が予め指定した人へのみ特定のキー信号を与えてインターネットを利用したネット出席者を設定し、該ネット出席者が、端末から前記祝葬事の主催者が予め通知したキー信号を入力することにより前記サーバにアクセス可能で、該サーバを介して前記ホストコンピュータから送信される式次第の映像をリアルタイムで前記端末に表示するとともに、  
 前記インターネットを利用したネット出席者により前記端末から入力された文字メッセージ若しくは音声メッセージが、前記キー信号により判別されて該出席者の個人データと一体化して式運営手順で必要な優先分類毎にグループ化されて、該メッセージの披露順位が決定されることを特徴とするサイバー式場出席システム。

【請求項2】 前記メッセージが優先分類毎にグループ化されて保存されるホストコンピュータの保存部に、予め個人データとともに写真等の画像データが保存されており、該画像を写し出しながら前記メッセージを披露することを特徴とする請求項1記載のサイバー式場出席システム。

【請求項3】 前記ホストコンピュータに、撮像手段とともに一又は複数の集音手段を具え、前記端末から映像とともにリアルタイムで音声を出力することを特徴とする請求項1若しくは2記載のサイバー式場出席システム。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

## 【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するために、請求項1記載の発明は、結婚式、披露宴若しくは葬儀等の祝葬事の式次第を撮像した動画像若しくは静止画像をインターネットを介して式場に赴くことの出来ない出席希望者に閲覧可能にした式場出席システムであって、一又は複数の撮像手段を具えたホストコンピュータと、該ホストコンピュータとインターネット若しくは地域ネットワークを介して接続されるWWWサーバ等のサーバとを含み、前記祝葬事の主催者が予め指定した人へのみ特定のキー信号を与えてインターネットを利用したネット出席者を設定し、該ネット出席者が、端末から前記祝葬事の主催者が予め通知したキー信号を入力することにより前記サーバにアクセス可能で、該サーバを介して前記ホストコンピュータから送信される式次第の映像をリアルタイムで前記端末に表示するとともに、前記インターネットを利用したネット出席者により前記端末から入力された文字メッセージ若しくは音声メッセージが、前記キー信号により判別されて該出席者の個人データと一体化して式運営手順で必要な優先分類毎にグループ化されて、該メッセージの披露順位が決定されることを特徴とする。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正内容】

【0008】また、インターネット出席者の参加意識をより強めるために、披露宴では祝辞及び祝電、葬儀では弔辞及び弔電というようなメッセージやコメントをインターネット若しくは電子メール等を介して送信できるようにする。これは、インターネット出席者が送信したメッセージが瞬時に式場に送られ、また該メッセージが披露されている映像をリアルタイムで閲覧することにより、遠隔地に居ながら式場に参列しているかのような気分を味わえる。さらに、本発明では予め主催者が指定した人へのみ特定のキー信号が与えられるため、不特定多数の人に情報が漏れることはなく、個人のプライバシーが保護される。また、特に外部からの侵入を防ぎたい場合には、ファイアウォール等の防御手段を採るとよい。尚、前記動画像や静止画像とともに、式場の音声情報をリアルタイムで送受信できる機能を持たせることにより、一層参加雰囲気味わうことができる。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正内容】

【0 0 1 2】また、請求項 2 記載の発明は、前記メッセージが優先分類毎にグループ化されて保存されるホストコンピュータの保存部に、予め個人データとともに写真等の画像データが保存されており、該画像を写し出しながら前記メッセージを披露することを特徴とする。かかる発明は、インターネット出席者の個人データ、つまり主催者との関係やエピソード等を前もって保存しておき、式中にインターネット出席者により式場に送られて

きたメッセージとともにデータベースに一時格納され、親族、会社関係、友人等のようにグループ分けをして、メッセージの披露時に夫々のグループの優先順位によって披露順位を決定する。さらに、披露宴の場合には、かかるメッセージを披露する際にメッセージ送信者の簡単な紹介をしてもよいし、予め個人データを保存する際に写真等の画像データをともに保存しておき、該画像を写し出しながら披露してもよい。このように、主催者側のデータだけではなく、インターネット出席者のデータを予めデータベースで管理しておくことにより、不備のない式の進行が可能となるとともに、インターネット出席者がその映像をリアルタイムで閲覧することでより身近に感じることができる。